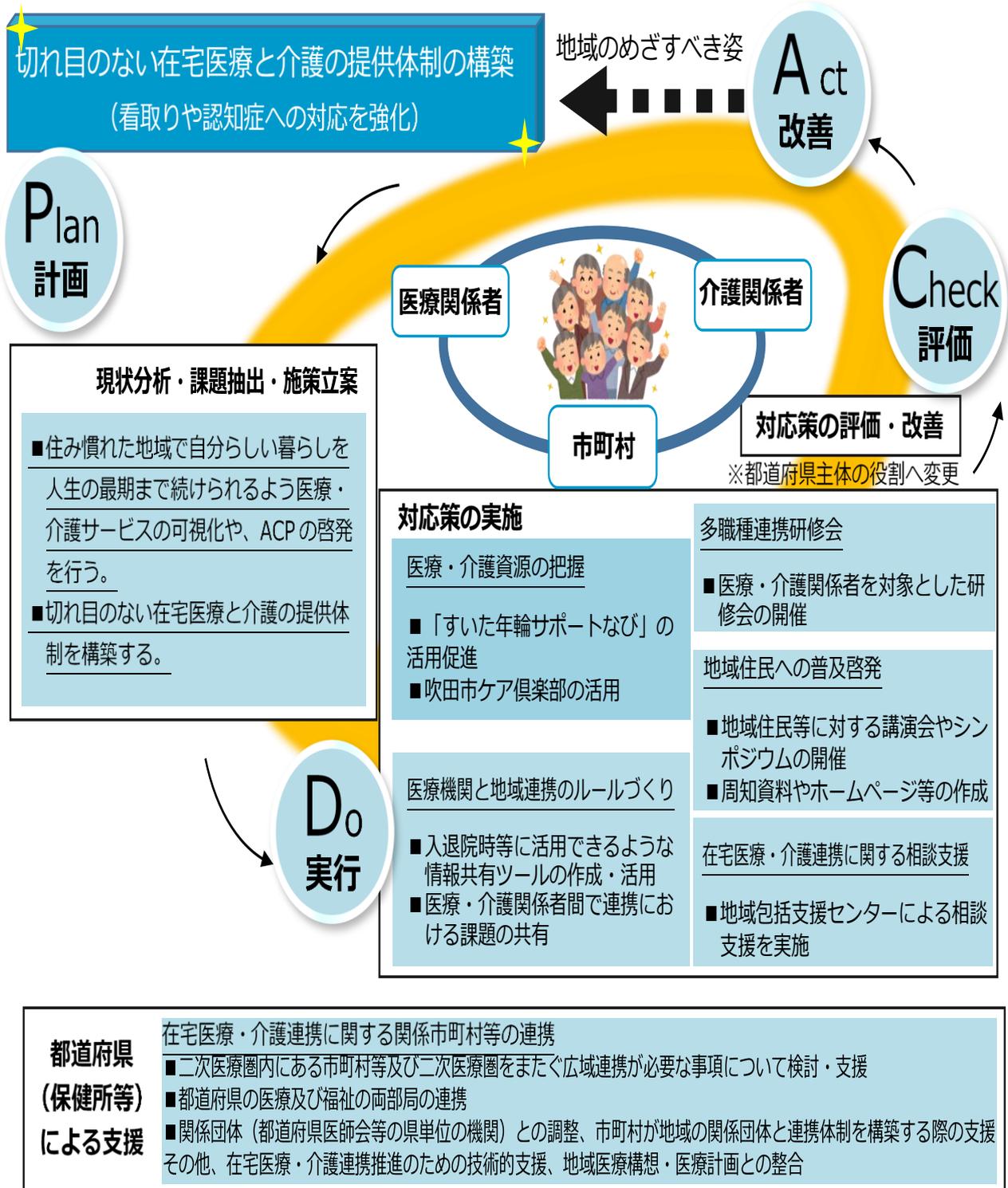


在宅医療・介護連携推進事業の取組について



(在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.3 の資料を参考に吹田市版に改編)

具体的な取組 (Do 実行) の詳細について、次ページのとおり。

Do 実行				
	作業 部会	令和4年度	作業 部会	令和5年度
医療・介護資源 の把握	無	1 「すいた年輪サポートナビ」の周知 (1) バナー表示を「医療・介護サービス、生活サポート検索システムすいた年輪サポートナビ」とした。 (2) 高齢者の生活サポート情報を追加掲載 2 「吹田市ケア倶楽部」の啓発	無	1 「すいた年輪サポートナビ」の周知 (1) チラシを新たに作成。 (2) SNS を活用した周知を実施予定。 2 「吹田市ケア倶楽部」の啓発
医療機関と地域連携のルールづくり	無	1 情報共有ツールを活用した連携促進 2 ICT ツールの課題や成果の共有	有	1 情報共有ツールを活用した連携促進 2 ICT ツールの課題や成果の共有 3 連携における課題及び解決策の検討 入退院支援に係る現状の課題等について課題及び解決策の検討等を行う作業部会を開催予定。
多職種連携 研修会	有	「日常の生活を支える多職種連携について」をテーマにオンライン開催。 R4年 11月 10日(木)開催。51人参加。講師による講演とブレイクアウトルームを活用したグループワークを実施。 講師：森内科クリニック 森直人氏	有	「日常の療養支援～ACP はターミナルだけじゃない～」をテーマにR5年 12月 14日(木) 参集開催予定。定員 70名。講師による講演とグループワークを実施予定。 講師：おおさか往診クリニック 和田泰三氏
地域住民への普及啓発	無	1 「吹田市マイエンディングノート」の配布 2 啓発ツールの活用促進	無	1 「吹田市マイエンディングノート」の配布 2 啓発ツールの活用促進
在宅医療・介護連携に関する相談支援	無	1 相談支援、対象者の分析の実施 2 対応策の検討	無	1 相談支援、対象者の分析の実施 2 対応策の検討 「医療機関と地域連携のルールづくり」の取組と連動し、連携の課題を積み上げていく。

上記の取組のほか、「医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面」(日常の療養支援・入退院支援・急変時の対応・看取り)に分けて、「目指すべき姿」の設定に向けた検討を行っている。

Check 評価

第8期吹田健やか年輪プランにおける目標。(③以下のかっこ内は、第9期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等実態調査結果)

- ① 多職種連携研修会参加者の医療介護連携の主観的満足度：50%以上（令和4年度：27.8%）
- ② 退院支援加算の体制を取っている病院数：10か所（令和5年度：10か所）
- ③ かかりつけ医のいる高齢者：90%（81.6%）
- ④ かかりつけ歯科医のいる高齢者：85%（75.0%）
- ⑤ かかりつけ薬局を決めている高齢者：75%（63.3%）
- ⑥ 人生の最終段階における医療について話し合ったことがある高齢者：60%（44.3%）
- ⑦ 「すいた年輪サポートナビ」のアクセス数増加。

Act 改善

前年度の取組内容を踏まえながら、吹田市ケアネット実務者懇話会の取組を継続して実施していく。

<参考資料>



すいた年輪サポートナビ

市内にある医療機関・歯科診療所・薬局に加え、吹田市をサービス提供地域にしている介護サービス事業者や、高齢者の生活サポート情報を検索することができます。

医療・介護サービス、
生活サポート検索システム



吹田市ホームページのトップページにある
このイラストをクリック！

携帯・スマートフォンからはこちら



<https://carepro-navi.jp/suita>



情報共有連絡サイト「吹田市ケア倶楽部」

市内の介護事業者と医療関係者等の情報共有のため、介護事業者向けに、市の事業に関する最新情報や国の通達、医療機関情報等をインターネットのサイト「吹田市ケア倶楽部」で発信しています。

お届け情報

介護・福祉ニュース

新着アンケート

お知らせ・情報



医療と介護の橋渡し…「情報共有ツール」

吹田市ケアネット実務者懇話会では、切れ目なく在宅医療と介護サービスを提供できるよう、医療・介護関係者等が活用できるさまざまな手段（ツール）を作っています。

利用者情報提供書

入院時等にケアマネジャー（居宅介護支援事業者）が提供するツールです。高齢者が入院等医療を受ける時に、**その方の状況**（氏名、生年月日、介護認定区分、かかりつけ医、身体の状況等）について**短時間で伝えることができ、適切な医療に結び付けることができます。**



退院前カンファレンスチェックシート

退院後、在宅療養を進めるに当たり、病院の主治医、看護師等と在宅支援スタッフ等との間で、本人の病態や状況についての情報を共有するための「退院前カンファレンス」に必要な情報項目の整理等をしたものです。

退院前カンファレンス
チェックシート

これなら
安心!



外来連携シート

服薬管理ができない、予約日に受診できない、新規でサービスが必要になった、医療行為が自宅でできているのか等、支援が必要な外来患者に対して、病院と在宅支援間とで情報を共有できる連携ツールです。

通院患者で支援の必要な高齢者の情報を共有し、適切な医療を受けることで高齢者が抱える慢性疾患の安定を図り、在宅生活を維持することをめざしています。

その他にも…

「大阪府入退院支援の手引き」（2018年大阪府作成）に掲載されている、情報共有ツールの活用について普及啓発を行い、入院から退院までの支援を進め、高齢者が安心して在宅生活に戻ることができる体制を整えています。



地域住民への普及啓発

自分らしく生きる
～もしものために今できること～

吹田市地域包括支援センター

ACP市民啓発プログラム

吹田市 SUITA CITY × 大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

2023年度
吹田市
マイエンディング
ノート

名前 _____

大切な人とあなたの人生会議

「知ってみよう 人生会議SUITA」

本資料は吹田市と大阪大学の共同研究により作成したものです。
スライドの内容を無断で変更することを禁止しています。

大切な人とあなたの人生会議

あなたにとって、大切なことはなんですか？
もしもの時に備えて、医療・ケアについての希望や思いを
家族や医療・介護関係者と共に話し合ってください。それが人生会議です。
希望に沿った医療・ケアを受けながら
最期まであなたらしく豊かに生きられる、一緒に考えてみましょう。

大切な人
あなた
医療・ケア
家族
介護関係者

吹田市

10 その他、伝えておきたいこと

私の思い 記入シート

大切な人とあなたの人生会議

あなたにとって、大切なことはなんですか？
医療・ケアについての希望や思いを大切な人や医療・介護スタッフと
共に話し合い、最期まであなたらしく豊かに生きること…
一緒に考えてみましょう。

初回記入日： 年 月 日
氏名 _____

2023年4月発行
吹田市健康医療部 保健医療総務室
令和4年度吹田市地域医療推進懇話会作業部会により作成

吹田市